

厚生労働科学研究費補助金（がん対策推進総合研究事業）  
（分担研究報告書）

がん専門相談員向けの研修「国立がん研究センター基礎研修（3）」と「外部組織実施研修」の  
研修効果の定量的評価に関する研究

研究分担者 八巻 知香子 国立がん研究センターがん対策研究所がん情報提供部(室長)  
研究協力者 小郷 祐子 国立がん研究センターがん対策研究所がん情報提供部(専門職)  
研究協力者 高橋 朋子 国立がん研究センターがん対策研究所がん情報提供部(看護師)  
研究協力者 櫻井 雅代 国立がん研究センターがん対策研究所がん情報提供部(看護師)  
研究協力者 齋藤 弓子 国立がん研究センターがん対策研究所がん情報提供部(研究員)  
研究協力者 檀谷 ひとみ 国立がん研究センターがん対策研究所がん情報提供部(特任研究員)

研究要旨

目的：国立がん研究センターでは、がん対策推進基本計画策定以降、2008年度よりがん診療連携拠点病院等ががん相談に従事する相談員を主な対象として、演習形式の基礎研修(3)（以下、NCC 基礎(3)）を提供している。しかし、演習形式の研修であるために定員に限りがあり、希望しても受講できない者が毎年発生することが課題となってきた。そこで、公益財団法人パブリックヘルスリサーチセンターをはじめとした5団体が協働する「がん相談教育ネットワーク事業」を外部の活動資金を得て2023年より開始し、国立がん研究センターと同一研修プログラムである基礎演習（以下、CCTNP 基礎演習）の提供を開始した。今後、研修受講機会拡大のため CCTNP 基礎演習を広くがん相談に従事する人に広め提供して行くためには、NCC 基礎(3)と同等と見なすことができる研修であるか確認する必要があるが、現時点ではこの2つの研修の効果が同等であるかは明らかでない。したがって、本研究では、2つの研修の同質性を明らかにすることを目的とした。

方法：NCC 基礎(3)および CCTNP 基礎演習を受けた2群において、研修前後の計2時点で知識と意識を測定した。2群間の研修効果の分析としては、知識に関しては、事前事後の差分スコアを目的変数として、割り当て群を説明変数、基本属性（年齢、経験年数、資格の種類、所属組織、従事形態）と事前スコアをコントロール変数として投入し、多変量解析を行った。意識についても同様の手法を用いて、事前事後の差分を目的変数として解析した。

結果：主効果として、群の違いは知識および意識スコアの差分に有意な関連がないと明らかになった（それぞれ  $p=.801$ 、 $p=.174$ ）。

結論：NCC 基礎(3)および CCTNP 基礎演習の2つの研修は、相談員に必須となる知識および意識の獲得において同等の効果があり、同質の研修であると考えられた。今後、CCTNP 基礎演習の提供枠の拡大に向けて準備を進めていくことで、がん相談に従事する者への研修機会の拡大と相談対応の質の担保された相談対応につながると考えられた。

## A. 研究目的

がん診療連携拠点病院等（以下、拠点病院）の整備にかかる指針では、がん相談支援の実践の均てん化と充実を図ることを目的として、国立がん研究センター（National Cancer Center: NCC）が主催する「がん相談支援センター相談員基礎研修（3）（以下、NCC 基礎（3）」の受講者をがん相談支援センターに配置することを求めている。このような研修提供は、2007年のがん対策推進基本計画施行以降、国立がん研究センターが唯一の提供元となっている（NCC 基礎（3）は2008年から開始）。NCC 基礎（3）は、対象者（相談者）の理解と相談支援のプロセスを学ぶ演習形式の研修であり、がん診療連携拠点病院でがん相談に従事する相談員を主な対象として行われている。しかし、受講者が学習目標を達成するためには少人数でのグループワークが不可欠であるため、受講可能数には限りがあり、希望しても受講できない人が毎年一定数発生するという長年の課題となっている。

この課題の解決に向けて、外部の活動資金を得て、がん相談教育ネットワーク事業（Cancer Counseling Network Program: CCTNP）が2023年より開始された。CCTNPは、拠点病院の所属にかかわらず、がん相談に従事する相談員やがん診療に携わる医療従事者に研修の機会を提供することで、がん医療全体の質向上に貢献することを目的とし、パブリックヘルスリサーチセンター・日本がん看護学会・日本医療ソーシャルワーカー協会・日本がん相談研究会・国立がん研究センターの5団体が協働し運営している。CCTNPでは、NCC 基礎（3）と同一のプログラム（以下、CCTNP 基礎演習）を開催しており、経験豊富な講師・副講師が研修を運営している。しかし、CCTNP 基礎演習の研修効果は測定されているものの<sup>1)</sup>、NCC

基礎（3）と CCTNP 基礎演習との同質性の検証はされていなかった。

したがって、本研究では、NCC 基礎（3）と CCTNP 基礎演習の効果を比較し、2群間の研修の同質性を明らかにすることを目的とした。

なお、がん相談教育ネットワーク事業（Cancer Counseling Network Program: CCTNP）による研修実施については、日本癌治療学会／ファイザー公募型医学教育プロジェクトの助成「がん患者支援の推進に対する医療者への教育プロジェクト」（2023年1月～2025年12月）により実施し、同質性の評価については、本厚生労働科学研究費補助金「がん相談支援の質の確保及び持続可能な体制の構築に資する研究」によって実施した。

## B. 研究方法

### 1. 対象

評価の比較対象を行うために、NCC 基礎（3）と CCTNP 基礎演習の受講者の群を設定した。NCC 群では2024年9月に実施した基礎（3）の参加者、CCTNP 群では2024年12月に実施した基礎演習の参加者のうち、研究の参加について同意し、すべての評価項目に回答した人を対象とした。NCC 基礎（3）は、拠点病院あるいは拠点病院に申請予定のがん相談支援センターに従事する者が参加者となっている。一方、CCTNP 基礎演習の参加者はがん患者や家族等を支援する業務に携わる医療・福祉関係の資格を有する医療従事者とし、NCC が準備している拠点病院の相談員が参加するメーリングリスト、各都道府県のがん対策主管課や協働している日本がん看護学会・日本医療ソーシャルワーカー協会・日本がん相談研究会経由などで周知・広報をおこなった。

### 2. 研修プログラムの概要

#### 【学習の目的と目標】

NCC 基礎(3)および CCTNP 基礎演習の目的は、「相談員に求められる基本姿勢と役割を理解し、

相談者個々のニーズに沿った相談支援を行うために必要な知識・スキル・態度を学ぶこと」であった。学習目標は目的を達成する上で必要となる5つの基本姿勢や対象理解に関する項目など、計8項目を設定した(図1参照)

【スケジュール】研修は2日間のスケジュールで実施し、主にグループワークによる演習で構成した(図2,3)

### 【その他】

CCTNP 基礎演習の講師・副講師はNCC 基礎(3)の講師・副講師経験者とし、事前に講師・副講師向けのミーティングを開催して受講者層の違いや研修目的等の確認を行った。

## 2. 調査方法

本研究のアウトカム指標は、対象者の知識と意識とした。どちらも事前と事後の2時点で測定した。知識に関しては、研修前と終了後1週間以内に測定し、意識研修前と終了後1か月の時点で測定した。調査の流れは図4の通りである。

### I. 知識アンケート

がん相談の基本的スキルや相談事例のアセスメント等の正誤を確認するアンケート、開催1ヶ月前と終了後1週間以内の2時点で実施した。本アンケートは複数の選択肢の中から正誤の組み合わせを回答する方式であり、計13項目で評価した。

### II. 意識アンケート

研修の事前学習前(研修約1ヶ月前)、研修終了1ヶ月後の2時点で測定した。1)がん相談の基本姿勢(2項目)、2)相談員の役割(5項目)、3)コミュニケーションスキル(2項目)、4)アセスメント(6項目)、5)情報提供/支援(6項目)、6)継続的サポート(2項目)、6)他職種/他機関連携(2項目)

の計7領域25項目について、普段の相談業務での認識について尋ねた。各項目に対して、意識している程度を「全く意識していない(1点)」～「強く意識している(4点)」の4件法で尋ねるアンケートを実施した。

## III. 基本属性

本研究では、対象者の年齢、経験年数、資格の種類、所属組織、従事形態について収集した。

## 2. 分析方法

対象者の基本属性については、記述統計を算出しカイ二乗検定にて2群間の比較を行った。知識および意識アンケートに関しては、Cronbach's alphaを算出し、信頼性と内的妥当性、および内的一貫性を確認した。

まず、知識アンケート13項目は、Cronbach's alpha=.658であった。意識アンケート25項目に関しては、Cronbach's alpha=.942、下位項目1「基本姿勢」はCronbach's alpha=.460、下位項目2「役割」はCronbach's alpha=.739、下位項目3「コミュニケーション」はCronbach's alpha=.570、下位項目4「アセスメント」はCronbach's alpha=.831、下位項目5「情報提供支援」はCronbach's alpha=.884、下位項目6「継続的サポート」はCronbach's alpha=.719、下位項目7「他職種連携」はCronbach's alpha=.639であり、いずれも信頼性は担保されていると判断して尺度化しスコア化を行った。なお、知識アンケートはスコアが高いほど知識がある、意識アンケートに関してはスコアが高いほど意識が高いと解釈した。

2群の知識および意識アンケートのスコアの分布は、事前・事後の平均値と標準偏差、差分を算出し確認した。また、それぞれの事前と事後スコアの群間の単変量での比較については、知識アンケートは13項目、意識アンケートは25項目と7つの下位項目に対してMann-Whitney U検定を行

った。

2 群間の研修効果の分析としては、知識アンケートに関しては、事前事後の差分スコアを目的変数として、割り当て群(NCC と CCTNP)を説明変数、基本属性(年齢、経験年数、資格の種類、所属組織、従事形態)と事前スコアをコントロール変数として投入し、多変量解析を行った。意識アンケートに関しても同様の手法を用いて、意識アンケートの差分を目的変数として解析した。

## C. 結果

### 1. 対象者の基本属性

対象者の基本属性を表 1 に示す。本研究に参加した人は計 141 人であり、そのうち NCC 群は 98 人、CCTNP 群は 43 人であった。2 群間において、年齢( $p=.163$ )、経験年数( $p=.222$ )、資格の種類( $p=.092$ )、従事形態( $p=.077$ )には有意差なく、所属組織のみ有意差が確認された ( $p<.001$ )。

### 2. 知識アンケートの差分に対する影響要因

各群の知識アンケートの事前事後スコアの平均値±標準偏差については、表 2 に示すとおりである。全体として、事前は  $7.65 \pm 2.58$ 、事後は  $8.96 \pm 2.34$ 、差分は  $1.32 \pm 2.49$  であった。群ごとでは、NCC の事前は  $7.38 \pm 2.60$ 、事後は  $8.69 \pm 2.36$ 、差分は  $1.32 \pm 2.45$  であり、CCTNP の事前は  $8.26 \pm 2.27$ 、事後は  $9.58 \pm 2.22$ 、差分は  $1.33 \pm 2.62$  であった。表 3 に示す通り、Mann-Whitney U 検定による群間の差異については、事前スコアでは  $p=.102$ 、事後スコアでは  $p=.035$  であり、事後のみ有意な差があった。知識アンケートの差分を目的変数とした多変量解析の結果では、表 4 に示した通り、主効果として群とスコアの差分には有意な関連がないと明らかになった ( $p=.801$ )

### 3. 意識アンケートの差分に対する影響要因

全体として、事前スコアの平均±標準偏差は

$86.81 \pm 8.68$ 、事後は  $90.01 \pm 8.30$  であり、差分は  $3.20 \pm 7.53$  であった。群ごとの意識アンケートの事前・事後スコアの平均値と標準偏差は表 5 に示す。NCC の事前スコアの平均±標準偏差は  $86.33 \pm 8.64$ 、事後は  $88.98 \pm 8.42$ 、差分は  $2.65 \pm 6.93$  であり、CCTNP の事前スコアは  $87.91 \pm 8.68$ 、事後スコアは  $92.35 \pm 7.60$ 、差分は  $4.44 \pm 8.7$  であり、CCTNP の方が差分は大きいことが明らかになった。Mann-Whitney U 検定の結果では、尺度全体の「25 項目」の事前スコアは  $p=.258$ 、事後は  $p=.022$ 、下位尺度の「基本姿勢」では事前スコアは  $p=.077$ 、事後スコアは  $p=.273$ 、「役割」の事前スコアは  $p=.273$ 、事後は  $p=.085$ 、「コミュニケーション」の事前スコアは  $p=.259$ 、事後は  $p=.005$ 、アセスメントの事前スコアは  $p=.265$ 、事後は  $p=.090$ 、「情報提供支援」の事前スコアは  $p=.871$ 、事後は  $p=.061$ 、「継続サポート」の事前スコアは  $p=.624$ 、事後は  $p=.191$ 、「他職種連携」の事前スコアは  $p=.573$ 、事後は  $p=.103$  であった。したがって、事後において、尺度全体の「25 項目」、2 つの下位尺度：「基本姿勢」「コミュニケーション」では群間での有意差が明らかとなった(表 6)。

表 7 に示すように、意識アンケートの差分を目的変数とした多変量解析の結果では、主効果として群の割り当てはスコアの差分に有意な影響がないことが明らかになった ( $p=.174$ )。下位尺度ごとの結果に関しては、表 8~14 に示す通りであり、下位項目 1 「基本姿勢」では  $p=.094$ 、下位項目 2 「役割」は  $p=.491$ 、下位項目 3 「コミュニケーション」は  $p=.024$ 、下位項目 4 「アセスメント」は  $p=.380$ 、下位項目 5 「情報提供支援」は  $p=.329$ 、下位項目 6 「継続的サポート」は  $p=.502$ 、下位項目 7 「他職種連携」は  $p=.095$  であり、「コミュニケーション」のみ群による影響があると明らかになった。

## D. 考察

本研究では、NCC 基礎(3)と CCTNP 基礎演習の効果指標として、知識と意識アンケートの結果を用いて、2 群間の研修の同質性を明らかにした。知識および意識アンケートの事前事後スコアの差分を目的変数とした多変量解析の結果が示すように、年齢や経験年数、取得している資格などの基本属性によらず、群とそれぞれの差分には有意な関連はなく、どちらの研修を受けた場合でも効果に変わりはないと考えられる。ただし意識アンケートにおいては、下位項目の「コミュニケーション」は群間での有意な差があり、基本属性を調整した場合でも NCC 基礎(3)よりも CCTNP 基礎演習の方が差分が大きい可能性が示唆された。その理由としては、CCTNP 基礎演習の参加者は拠点病院以外に所属する者が多く、所属組織にがん相談支援センターが設置されていない施設もあることから、がん相談に必要な具体的なコミュニケーションスキルをはじめ学ぶ機会となり研修効果が大きかったものと考えられる。

CCTNP 基礎演習は NCC 基礎(3)と同等の研修効果があり同質の内容と認められたが、本研究の限界として、対象者がランダムに割り付けされていない点や 2 群間の参加者の人数に偏りがみられる点が挙げられる。今後、CCTNP 基礎演習の開催を継続していくにあたっては、引き続き、研修の効果をモニタリングしていく必要がある。しかし本研究は、拠点病院にとどまらず、広くがん相談に従事する相談員やがん診療に携わる医療従事者に研修の機会を提供し、その効果を測定することを目指した初めての研究であり、基礎資料の一つとして有用であると考えられる。

#### E. 結論

NCC 基礎(3)と CCTNP 基礎演習は、相談員に必須となる知識および意識の獲得において同等の効果があり、同質の内容である。今後、CCTNP 基礎演習の提供拡大に向けて、準備を進めていく。

#### F. 健康危険情報

該当なし

#### G. 研究発表

##### 1. 論文発表

該当なし

##### 2. 学会発表

[1] 齋藤弓子, 小郷祐子, 高橋朋子, 櫻井雅代, 志賀久美子, 八巻知香子, 高山智子. がん専門相談員の初期研修の提供機会拡大の試み: 研修提供効果の定性的評価. 第 62 回日本癌治療学会学術集会. 2024. 10. 24-26.

[2] 小郷祐子, 齋藤弓子, 高橋朋子, 櫻井雅代, 志賀久美子, 八巻知香子, 高山智子. がん専門相談員の初期研修の提供機会拡大の試み: 研修提供効果の定量的評価. 第 62 回日本癌治療学会学術集会. 2024. 10. 24-26.

#### H. 知的財産権の出願・登録状況 (予定を含む。)

##### 1. 特許取得

該当なし

##### 2. 実用新案登録

該当なし

##### 3. その他

文献

[1] 八巻知香子, 小郷祐子, 高橋朋子, 齋藤弓子, 初期研修受講後の到達アウトカム評価. 「厚生労働科学研究費補助金がん対策推進総合研究事業 がん相談支援の質の確保及び持続可能な体制の構築に資する研究. 研究代表者: 高山智子. 2024 年度分担研究報告書」(厚生労働科学研究成果データベース) ([https://mhlw-grants.niph.go.jp/system/files/report\\_pdf/202307034A-buntan1\\_0.pdf](https://mhlw-grants.niph.go.jp/system/files/report_pdf/202307034A-buntan1_0.pdf)) (2025 年 4 月 22 日に利用)

## 図表一覧

図 1. 学習目標

図 2. 研修 1 日目スケジュール

図 3. 研修 2 日目スケジュール

図 4. 調査の流れ

表 1. 対象者の基本属性

表 2. 知識テストの事前・事後スコアと差分

表 3. 知識テスト前後スコアの群間の差異

表 4. 知識テスト差分への影響要因

表 5. 意識テストの事前・事後スコアと差分

表 6. 意識テスト前後スコアの群間の差異

表 7. 意識テストの差分に対する影響要因

表 8. 意識テスト下位項目・基本姿勢の差分への影響要因

表 9. 意識テスト下位項目・役割の差分への影響要因

表 10. 意識テスト下位項目・コミュニケーションの差分への影響要因

表 11. 意識テスト下位項目・アセスメントの差分への影響要因

表 12. 意識テスト下位項目・情報提供支援の差分への影響要因

表 13. 意識テスト下位項目・継続的サポートの差分への影響要因

表 14. 意識テスト下位項目・他職種連携の差分への影響要因

- ① がん相談支援センターやがん専門相談員に求められる5つの基本姿勢を理解する (認知：理解)
- ② からだ・こころ・くらしの観点から包括的に対象理解を深める重要性を認める (情意：価値づけ)
- ③ 知識・予測・意図をもとにコミュニケーションスキルを活用する意義を認める (情意：価値づけ)
- ④ 主訴だけでなく真のニーズが潜在することを意識した相談対応の重要性に気づく (情意：受容)
- ⑤ 基本姿勢、対象理解、アセスメント等の知識を適用し、事例1の相談支援プロセスを分析する (認知：応用・分析)
- ⑥ 基本姿勢、対象理解、アセスメント等の知識を適用し、事例2において相談者主体の支援計画を検討する (認知：統合)
- ⑦ 事例2の支援計画を反映した電話相談対応にチャレンジし、気づき・課題を見出す (認知：分析)
- ⑧ 相談者の想いを叶えるための院内外との連携における留意点について、自らの見解を示す (情意：価値の組織化)

図1. 学習目標

時間		内容	担当
9:30	20分	挨拶/学習目的/スケジュール/講師紹介 (NCC) 相談支援Iの復習講義 (チーフ)	司会 チーフ
9:50	10分	自己紹介/ 導入 (1分)、GW (10分)	ファシリ
10:00	10分	相談支援IIの復習講義	チーフ
10:10	25分	＜事例1＞子宮頸がん患者への相談支援 映像 (12分)、演習導入+演習0 (13分)	チーフ
10:35	10分	メイン <b>休憩</b>	
10:45	115分	役割決め (2分) 演習1：第一印象 (3分)、 演習2：事実確認+対象理解 (50分)、 演習3：主訴とニーズ、相談員の知識・予測・意図 (60分：個人ワーク5分含む)	チーフ ファシリ
12:40	60分	GW <b>昼休憩</b>	
13:40	65分	午後の予定確認 (5分) 演習4：斉藤さんのアセスメント (30分：個人ワーク5分含む) 演習5：斉藤さんの支援計画の考察 (30分：個人ワーク5分含む)	チーフ ファシリ
14:45	15分	演習シート提出・ <b>休憩</b>	事務局
15:00	60	メイン 全体共有	チーフ
16:00	20	GW 本日の振り返り 導入 (2分) GW (18分)	チーフ ファシリ
16:20	10	メイン 質疑応答、まとめ、2日目に向けて	チーフ 司会

図2. 研修1日目スケジュール

時間		内容	担当
9:30	5分	スケジュール/学習目的・目標	司会
9:35	30分	事前講義動画の復習 (10分) ＜事例2＞大腸がん患者家族への相談支援+連携 映像 (10分) 演習導入+演習0 (10分)	チーフ
10:05	60分	アイスブレイク+役割決め (7分) 演習1：印象 (3分) 演習2：事実の確認+対象理解 (50分)	ファシリ
11:05	10分	GW <b>休憩</b>	
11:15	75分	演習3：主訴とニーズ (25分：個人ワーク5分) 演習4：アセスメント (25分：個人ワーク5分) 演習5：支援計画 (25分：個人ワーク5分)	ファシリ
12:30	60分	GW <b>昼休み</b>	
13:30	50分	午後の予定説明・確認 (5分) 役割決め (5分) 演習6：相談の続き (40分)	チーフ ファシリ
14:20	15分	メイン 演習シート提出後、 <b>休憩</b>	
14:35	60分	メイン 全体共有	チーフ
15:35	25分	メイン→GW 連携 チーフのフリートーク (10分)、GW (15分)	チーフ ファシリ
16:00	22分	GW 導入 (2分) 本日の振り返り (10分) + 研修全体の振り返り (10分)	ファシリ
16:22	8分	メイン 質疑応答、まとめ、事務連絡	チーフ 司会

図3. 研修2日目スケジュール

表 1. 対象者の基本属性

	NCC(n=98)		CCTNP(n=43)		p-value*
	n	%	n	%	
年齢層					.163
20代	14	14.3	2	4.7	
30代	21	21.4	8	18.6	
40代	34	34.7	15	34.9	
50代	27	27.6	14	32.6	
60代	2	2.0	4	9.3	
経験年数					.222
1年以下	30	30.6	6	14.0	
1～3年	23	23.5	12	27.9	
3～5年	15	15.3	8	18.6	
5年以上	30	30.6	17	39.5	
資格の種類					.092
看護師	49	50.0	26	60.5	
社会福祉士	47	48	14	32.6	
心理士	1	1.0	3	7.0	
資格なし	1	1.0	0	0.0	
所属					<.01
国指定	82	83.7	16	37.2	
非拠点	16	16.3	27	62.8	
従事形態					.077
専従	20	20.4	7	16.3	
専任	26	26.5	5	11.6	
兼任	52	53.1	31	72.1	

\*chi-square test

表 2. 知識テストの事前・事後スコアと差分

	NCC(n=98)			CCTNP(n=43)			Total(n=141)		
	前	後	差分	前	後	差分	前	後	差分
Total score(13項目)	7.38 ± 2.60	8.69 ± 2.36	1.32 ± 2.45	8.26 ± 2.47	9.58 ± 2.22	1.3 ± 2.6	7.65 ± 2.58	8.96 ± 2.34	1.32 ± 2.49

Note: 平均値 ± 標準偏差

表 3. 知識テスト前後スコアの群間の差異

	前	後
	p-value*	p-value*
Total score(13項目)	.102	.035

\*Mann-Whitney U test

表 4. 知識テスト差分への影響要因

	B	標準誤差	95% Wald 信頼区間 下限	95% Wald 信頼区間 上限	Wald カイ 2 乗	自由度	p-value
グループ							
NCC	-0.107	0.4253	-0.941	0.726	0.063	1	.801
CCTNP(ref)							
年齢層							
20代	-1.861	1.0429	-3.905	0.183	3.185	1	.074
30代	-1.098	0.927	-2.915	0.719	1.403	1	.236
40代	-1.33	0.8825	-3.06	0.399	2.273	1	.132
50代	-1.144	0.8749	-2.859	0.57	1.711	1	.191
60代(ref)							
経験年数							
1年以下	0.482	0.4644	-0.429	1.392	1.076	1	.300
1~3年	1.228	0.456	0.334	2.121	7.246	1	.007
3~5年	0.917	0.5144	-0.091	1.926	3.180	1	.075
5年以上(ref)							
資格							
看護師	-1.61	2.0478	-5.624	2.404	0.618	1	.432
社会福祉士	-1.814	2.0066	-5.747	2.119	0.817	1	.366
心理士	0.046	2.2923	-4.447	4.539	0.000	1	.984
資格なし(ref)							
所属機関							
国指定	-0.154	0.409	-0.955	0.648	0.141	1	.707
非拠点(ref)							
従事形態							
専従	-0.182	0.4506	-1.065	0.701	0.163	1	.687
専任	-0.258	0.432	-1.105	0.589	0.356	1	.551
兼任(ref)							
事前知識score	-0.551	0.0677	-0.683	-0.418	66.21	1	<.001

表 5. 意識テストの事前・事後スコアと差分

	NCC(n=98)			CCTNP(n=43)			Total(n=141)		
	前	後	差分	前	後	差分	前	後	差分
Total score	86.33 ± 8.64	88.98 ± 8.42	2.65 ± 6.93	87.9 ± 8.77	92.35 ± 7.60	4.4 ± 8.7	86.81 ± 8.7	90.01 ± 8.30	3.20 ± 7.53
基本姿勢	6.91 ± 0.87	7.16 ± 0.85	0.26 ± 1.04	7.19 ± 0.82	7.56 ± 0.6	0.4 ± 0.9	6.99 ± 0.9	7.28 ± 0.80	0.29 ± 1.00
役割	18.13 ± 1.73	18.55 ± 1.66	0.42 ± 1.80	18.5 ± 1.65	19.07 ± 1.3	0.6 ± 1.8	18.23 ± 1.7	18.71 ± 1.58	0.48 ± 1.78
コミュニケーション	7.00 ± 0.94	7.17 ± 0.84	0.17 ± 0.94	7.21 ± 0.80	7.58 ± 0.7	0.4 ± 0.8	7.06 ± 0.9	7.30 ± 0.82	0.23 ± 0.90
アセスメント	20.79 ± 2.38	21.52 ± 2.35	0.73 ± 2.10	21.3 ± 2.46	22.14 ± 2.3	0.8 ± 2.7	20.94 ± 2.4	21.71 ± 2.33	0.77 ± 2.31
情報提供支援	20.06 ± 2.54	20.66 ± 2.63	0.60 ± 2.42	20.2 ± 2.79	21.58 ± 2.5	1.4 ± 2.6	20.09 ± 2.6	20.94 ± 2.63	0.85 ± 2.51
継続的サポート	6.55 ± 1.05	6.91 ± 0.96	0.36 ± 1.04	6.63 ± 1.05	7.14 ± 0.8	0.5 ± 1.1	6.57 ± 1.0	6.98 ± 0.93	0.40 ± 1.07
他職種連携	6.89 ± 0.90	7.00 ± 0.93	0.11 ± 0.78	6.95 ± 1.00	7.28 ± 0.8	0.3 ± 1.0	6.91 ± 0.9	7.09 ± 0.91	0.18 ± 0.87

Note: 平均値 ± 標準偏差

表 6. 意識テスト前後スコアの群間の差異

	前 p-value*	後 p-value
Total score	.258	.022
基本姿勢	.077	.010
役割	.273	.085
コミュニケーション	.259	.005
アセスメント	.265	.090
情報提供支援	.871	.061
継続的サポート	.624	.191
他職種連携	.573	.103

\*Mann-Whitney U test

表 7. 意識テストの差分に対する影響要因

	B	標準誤差	95% Wald 下限	信頼区間 上限	Wald カイ 2 乗	自由度	p-value
グループ							
NCC	-1.865	1.3701	-4.55	0.821	1.852	1	.174
CCTNP(ref)							
年齢層							
20代	-1.247	3.4271	-7.964	5.47	0.132	1	.716
30代	-3.043	3.0894	-9.098	3.012	0.97	1	.325
40代	-1.359	2.8794	-7.002	4.285	0.223	1	.637
50代	-1.129	2.8589	-6.732	4.475	0.156	1	.693
60代(ref)							
経験年数							
1年以下	0.976	1.5198	-2.003	3.954	0.412	1	.521
1~3年	-1.142	1.4938	-4.07	1.786	0.584	1	.445
3~5年	2.033	1.6755	-1.25	5.317	1.473	1	.225
5年以上(ref)							
資格							
看護師	-9.343	6.6516	-22.38	3.694	1.973	1	.16
社会福祉士	-10.673	6.5358	-23.483	2.137	2.667	1	.102
心理士	-5.475	7.4183	-20.015	9.064	0.545	1	.46
資格なし(ref)							
所属機関							.819
国指定	-0.303	1.3275	-2.905	2.298	0.052	1	.819
非拠点(ref)							
従事形態							
専従	-0.498	1.4619	-3.363	2.367	0.116	1	.733
専任	-1.098	1.4065	-3.855	1.659	0.609	1	.435
兼任(ref)							
事前意識のTotal score	-0.469	0.0683	-0.603	-0.336	47.217	1	<.01

表 8. 意識テスト下位項目・基本姿勢の差分への影響要因

	B	標準誤差	95% Wald 信頼区間 下限	95% Wald 信頼区間 上限	Wald カイ 2 乗	自由度	p-value
グループ							
NCC	-0.272	0.1623	-0.59	0.046	2.801	1	.094
CCTNP(ref)							
年齢層							
20代	-0.47	0.4028	-1.259	0.32	1.36	1	.244
30代	-0.598	0.362	-1.307	0.112	2.726	1	.099
40代	-0.424	0.3399	-1.090	0.242	1.555	1	.212
50代	-0.364	0.3369	-1.025	0.296	1.169	1	.28
60代(ref)							
経験年数							
1年以下	0.076	0.1784	-0.274	0.425	0.179	1	.672
1～3年	-0.082	0.1729	-0.421	0.257	0.225	1	.635
3～5年	0.000	0.1967	-0.385	0.386	0.000	1	.999
5年以上(ref)							
資格							
看護師	-0.694	0.7876	-2.238	0.849	0.778	1	.378
社会福祉士	-0.805	0.7727	-2.319	0.710	1.084	1	.298
心理士	-0.623	0.8757	-2.340	1.093	0.507	1	.476
資格なし(ref)							
所属機関							
国指定	-0.045	0.1563	-0.351	0.261	0.083	1	.773
非拠点(ref)							
従事形態							
専従	0.053	0.1725	-0.286	0.391	0.093	1	.76
専任	-0.065	0.1667	-0.392	0.261	0.154	1	.694
兼任(ref)							
事前基本姿勢 score	-0.807	0.0779	-0.959	-0.654	107.311	1	<.01

表 9. 意識テスト下位項目・役割の差分への影響要因

	B	標準誤差	95% Wald 信頼区間 下限	95% Wald 信頼区間 上限	Wald カイ 2 乗	自由度	p-value
グループ							
NCC	-0.21	0.3043	-0.806	0.387	0.474	1	.491
CCTNP(ref)							
年齢層							
20代	-0.054	0.7526	-1.529	1.421	0.005	1	.943
30代	-0.712	0.6693	-2.024	0.6	1.132	1	.287
40代	-0.529	0.6371	-1.777	0.72	0.688	1	.407
50代	-0.309	0.6325	-1.549	0.93	0.239	1	.625
60代(ref)							
経験年数							
1年以下	0.076	0.336	-0.582	0.735	0.052	1	.82
1～3年	0.007	0.3267	-0.633	0.648	0.001	1	.982
3～5年	0.179	0.3686	-0.543	0.901	0.236	1	.627
5年以上(ref)							
資格							
看護師	-1.056	1.47	-3.937	1.825	0.516	1	.472
社会福祉士	-1.374	1.4429	-4.202	1.454	0.907	1	.341
心理士	-0.212	1.6427	-3.432	3.007	0.017	1	.897
資格なし(ref)							
所属機関							
国指定	-0.201	0.2941	-0.777	0.376	0.465	1	.495
非拠点(ref)							
従事形態							
専従	0.037	0.3243	-0.598	0.673	0.013	1	.908
専任	-0.064	0.3114	-0.674	0.546	0.042	1	.837
兼任(ref)							
事前役割score	-0.647	0.0747	-0.794	-0.501	75.142	1	<.01

表 10. 意識テスト下位項目・コミュニケーションの差分への影響要因

	B	標準誤差	95% Wald 信頼区間 下限	95% Wald 信頼区間 上限	Wald カイ 2 乗	自由度	p-value
グループ							
NCC	-0.337	0.1489	-0.629	-0.045	5.128	1	.024
CCTNP(ref)							
年齢層							
20代	0.246	0.3707	-0.48	0.973	0.442	1	.506
30代	0.058	0.3307	-0.59	0.706	0.031	1	.861
40代	0.244	0.3127	-0.369	0.857	0.608	1	.436
50代	0.068	0.3115	-0.543	0.678	0.047	1	.828
60代(ref)							
経験年数							
1年以下	0.127	0.1645	-0.196	0.449	0.593	1	.441
1～3年	-0.197	0.1603	-0.511	0.117	1.511	1	.219
3～5年	0.291	0.1809	-0.064	0.645	2.578	1	.108
5年以上(ref)							
資格							
看護師	-1.336	0.7238	-2.755	0.083	3.408	1	.065
社会福祉士	-1.422	0.7092	-2.812	-0.032	4.019	1	.045
心理士	-1.107	0.8057	-2.686	0.472	1.888	1	.169
資格なし(ref)							
所属機関							
国指定	-0.04	0.1451	-0.324	0.245	0.075	1	.784
非拠点(ref)							
従事形態							
専従	0.021	0.1588	-0.29	0.332	0.017	1	.895
専任	-0.005	0.153	-0.305	0.295	0.001	1	.974
兼任(ref)							
事前コミュニケーションscore	-0.613	0.0675	-0.746	-0.481	82.543	1	<.01

表 11. 意識テスト下位項目・アセスメントの差分への影響要因

	B	標準誤差	95% Wald 信頼区間 下限	95% Wald 信頼区間 上限	Wald カイ 2 乗	自由度	p-value
グループ							
NCC	-0.364	0.4148	-1.177	0.449	0.77	1	.380
CCTNP(ref)							
年齢層							
20代	-0.013	1.0479	-2.066	2.041	0	1	.990
30代	-0.198	0.9409	-2.043	1.646	0.044	1	.833
40代	0.28	0.8754	-1.435	1.996	0.103	1	.749
50代	0.239	0.8683	-1.462	1.941	0.076	1	.783
60代(ref)							
経験年数							
1年以下	0.711	0.4598	-0.19	1.612	2.393	1	.122
1～3年	-0.613	0.4546	-1.504	0.278	1.816	1	.178
3～5年	0.687	0.5104	-0.313	1.688	1.813	1	.178
5年以上(ref)							
資格							
看護師	-2.458	2.0175	-6.412	1.496	1.484	1	.223
社会福祉士	-2.942	1.9841	-6.831	0.946	2.199	1	.138
心理士	-2.846	2.2496	-7.255	1.563	1.6	1	.206
資格なし(ref)							
所属機関							
国指定	-0.048	0.4019	-0.836	0.74	0.014	1	.905
非拠点(ref)							
従事形態							
専従	-0.43	0.4427	-1.298	0.437	0.945	1	.331
専任	-0.394	0.4261	-1.229	0.441	0.855	1	.355
兼任(ref)							
事前アセスメントscore	-0.548	0.0761	-0.697	-0.399	51.815	1	<.01

表 12. 意識テスト下位項目・情報提供支援の差分への影響要因

	B	標準誤差	95% Wald 信頼区間 下限	95% Wald 信頼区間 上限	Wald カイ 2 乗	自由度	p-value
グループ							
NCC	-0.449	0.4604	-1.351	0.453	0.951	1	.329
CCTNP(ref)							
年齢層							
20代	-1.173	1.1439	-3.415	1.069	1.051	1	.305
30代	-1.645	1.0261	-3.656	0.366	2.57	1	.109
40代	-1.193	0.9647	-3.084	0.697	1.53	1	.216
50代	-1.045	0.9578	-2.922	0.832	1.19	1	.275
60代(ref)							
経験年数							
1年以下	-0.231	0.51	-1.231	0.768	0.205	1	.650
1～3年	-0.237	0.5039	-1.225	0.751	0.221	1	.638
3～5年	0.356	0.5634	-0.748	1.46	0.399	1	.527
5年以上(ref)							
資格							
看護師	-2.817	2.2307	-7.189	1.555	1.595	1	.207
社会福祉士	-3.101	2.1904	-7.394	1.192	2.004	1	.157
心理士	-0.822	2.4844	-5.691	4.047	0.11	1	.741
資格なし(ref)							
所属機関							
国指定	-0.185	0.4458	-1.059	0.688	0.173	1	.677
非拠点(ref)							
従事形態							
専従	-0.092	0.4905	-1.053	0.869	0.035	1	.851
専任	-0.335	0.4724	-1.261	0.591	0.502	1	.478
兼任(ref)							
事前情報提供score	-0.498	0.0741	-0.644	-0.353	45.162	1	<.001

表 13. 意識テスト下位項目・継続的サポートの差分への影響要因

	B	標準誤差	95% Wald 信頼区間 下限	95% Wald 信頼区間 上限	Wald カイ 2 乗	自由度	p-value
グループ							
NCC	-0.115	0.1711	-0.45	0.22	0.451	1	.502
CCTNP(ref)							
年齢層							
20代	-0.128	0.4266	-0.964	0.708	0.09	1	.764
30代	-0.59	0.3819	-1.338	0.159	2.382	1	.123
40代	0.081	0.3601	-0.625	0.786	0.05	1	.823
50代	-0.121	0.3577	-0.822	0.58	0.114	1	.735
60代(ref)							
経験年数							
1年以下	-0.031	0.1892	-0.401	0.34	0.026	1	.871
1～3年	-0.195	0.1837	-0.555	0.165	1.122	1	.289
3～5年	0.08	0.2082	-0.328	0.488	0.147	1	.701
5年以上(ref)							
資格							
看護師	-0.926	0.8293	-2.551	0.699	1.247	1	.264
社会福祉士	-1.184	0.8138	-2.779	0.411	2.117	1	.146
心理士	-0.662	0.924	-2.473	1.149	0.513	1	.474
資格なし(ref)							
所属機関							
国指定	0.021	0.1659	-0.304	0.346	0.016	1	.900
非拠点(ref)							
従事形態							
専従	0.125	0.1826	-0.233	0.482	0.465	1	.495
専任	-0.268	0.1756	-0.612	0.076	2.333	1	.127
兼任(ref)							
事前継続的サポート score	-0.7	0.0655	-0.828	-0.572	114.193	1	<.001

表 14. 意識テスト下位項目・他職種連携の差分への影響要因

	B	標準誤差	95% Wald 信頼区間 下限	95% Wald 信頼区間 上限	Wald カイ 2 乗	自由度	p-value
グループ							
NCC	-0.274	0.164	-0.596	0.047	2.793	1	.095
CCTNP(ref)							
年齢層							
20代	-0.266	0.407	-1.063	0.532	0.426	1	.514
30代	-0.064	0.36	-0.769	0.642	0.031	1	.860
40代	-0.151	0.3448	-0.827	0.525	0.191	1	.662
50代	0.148	0.3414	-0.521	0.818	0.189	1	.664
60代(ref)							
経験年数							
1年以下	0.112	0.1811	-0.243	0.467	0.383	1	.536
1～3年	0.116	0.1757	-0.228	0.461	0.438	1	.508
3～5年	0.297	0.1995	-0.094	0.688	2.216	1	.137
5年以上(ref)							
資格							
看護師	0.037	0.7948	-1.521	1.594	0.002	1	.963
社会福祉士	0.278	0.7805	-1.251	1.808	0.127	1	.721
心理士	0.747	0.8854	-0.988	2.483	0.712	1	.399
資格なし(ref)							
所属機関							
国指定	0.278	0.1588	-0.033	0.59	3.074	1	.080
非拠点(ref)							
従事形態							
専従	-0.054	0.1749	-0.397	0.288	0.097	1	.756
専任	0.166	0.1688	-0.165	0.496	0.964	1	.326
兼任(ref)							
事前他職種連携score	0.354	0.06	0.237	0.472	34.895	1	<.001